

## ご欠席の構成員からのご意見

### 「議題2」

- 28年度の取り組みで、ロボットの導入前後に、入居者等へのアンケートの実施とあるが、特別養護老人ホームに入居している方々は介護度が高く（要介護度4程度）、認知症の方もおられるので、アンケートに答えられるのか。アンケートの目的として、入所者の意向を伺うとしたら、調査方法の工夫をお願いしたい。

### 「議題3」

- 移乗介助の標準的作業が表としてまとめられているが、介護作業では、作業前に、「声かけ」「タッチング」「対象者の表情などを観察する」などの行為が最初だけでなく、いろいろな作業過程において、常に行われているので、介護者の身体的労作に加えて、精神的労作についても観察内容に配慮いただきたい。
- ロボットの導入可能性の分析を行う際には、人に対してロボットが直接サービスを行うのか。それとも、間接的にサービスを行っているかを区分して計測した方がよい。
- 介護職員や入居者等、精神面・動作面の負担計測では、結果をマトリックスのようなものに記入できないか。そうすると、ある区画では、介護ロボットを入れない方がよい入居者もいることが判定できるかもしれない。
- 介護ロボットを活用した介護が根付くためには、介護職員自身が自分たちで仕組みを作ったという意識を持ってもらうことが大切。押し付けはだめ。
- 最終的には、現介護ロボットで何ができるかだけでなく、何をして欲しいかを導き出すことが必要。